

## 青森県内初！視線誘導標の「光の変化」で気温変化をお知らせ 路面凍結注意を促します！

国土交通省弘前国道維持出張所では、冬期間の交通事故を減らす目的で、「光の変化」する視線誘導標を試験的に国道7号弘前バイパス、弘前市神田高架橋に導入します。

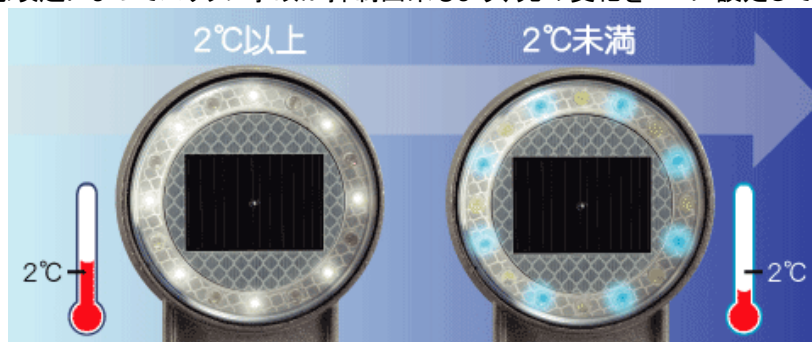
### 【概要】

太陽電池とLEDを使用したソーラー式視線誘導標を使用し、「光の変化」でドライバーに路面凍結注意を促し、路面状況が刻々と変化する冬期のドライブ環境をサポートします。

外気温を感知し、**2℃(※)**を境にして発光色を白から青色に変化します。

(※)路面凍結は、気温の他、通行量や道路構造、風の有無など様々な条件のもとに発生します。

早期の注意喚起によってスリップ事故が抑制出来るよう、光の変化を2℃に設定しています。



### 【参考】

#### ○路面凍結抑制剤について

国道などでは、冬期間に路面凍結抑制剤を散布しています。

この凍結抑制剤は、以下のように行っています。

- ・朝夕のラッシュ時前に散布し、通勤時の円滑な交通確保・渋滞対策を図ります。
- ・散布剤は、コスト等を考慮し「塩化ナトリウム」を使用しています。(魔法の粉ではありません)
  - 融点は-3℃まで、効き目は3時間程度です。
  - 1㎡に20g程度を散布します。
  - 橋梁、交差点、坂道等に散布しています。
  - (コスト、散布機械のタンク容量などから道路全線に散布はできません。)

冬期間、路面凍結抑制剤を散布していますが、路面状態は常に変化していますので、ドライバーのみなさんは安全運転をお願いします。

#### 問い合わせ先

国土交通省 青森河川国道事務所 弘前国道維持出張所  
弘前市大字城東中央五丁目6-10 TEL: 0172-28-1315  
出張所長 大澤 尚史(おおさわ なおふみ)  
<http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/syutu/hirokoku/index.html>

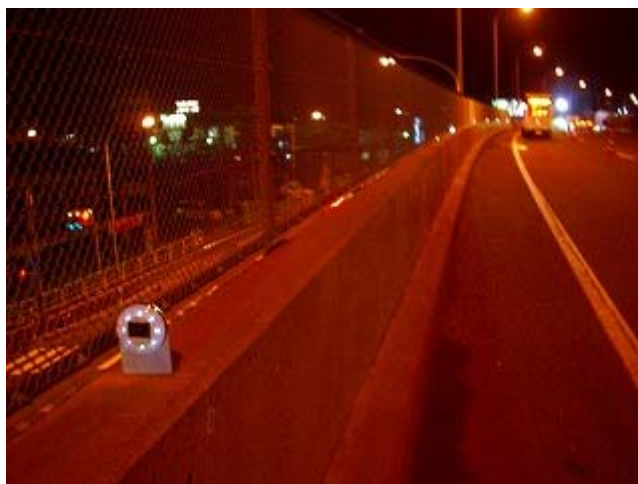
※記者発表会：青森県政記者会、弘前市記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

【「光が変化」する視線誘導標を試験的に導入する箇所】

○国道7号弘前バイパス 神田高架橋下り線



【設置箇所の現況写真】



今回試験導入する箇所は、1日の交通量が約40,000台と多く、橋梁と立体交差点が続く箇所、路面状況変化が激しい箇所です。

毎年冬期間の特に夜間には、中央分離帯を損傷する事故が多い場所でもあります。